



# 低炭素社会の実現

BUILDING A LOW CARBON SOCIETY



中部電力グループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

## 最新鋭火力(高効率・低環境負荷)の導入・運用

### 最新鋭火力(高効率・低環境負荷)の導入

- 武豊火力発電所5号機(石炭火力 2021年度運転開始予定)……CO<sub>2</sub>排出抑制のため、木質バイオマス燃料混焼を採用

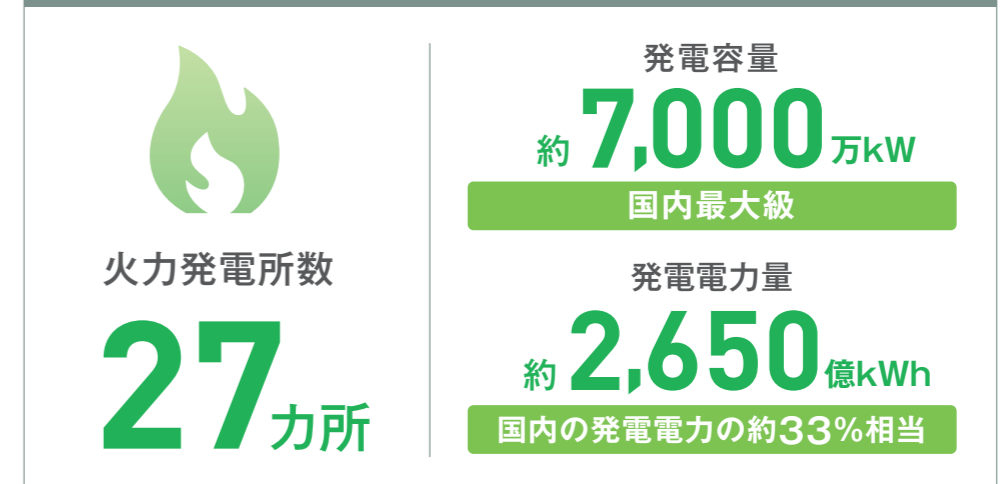
### 最新鋭火力(高効率・低環境負荷)の運用

- 西名古屋火力発電所7号系列の運用  ……世界で最も熱効率の高いコンバインドサイクル発電設備で、経済性と環境性の高い電力の安定供給に貢献

図1 西名古屋火力発電所について



JERAが保有する国内発電設備 (2020年3月31日時点)



環境目標 (2019年4月公表)

省エネ法ベンチマーク指標	高経年火力を最新鋭の高効率火力発電所に建て替えることで、省エネ法ベンチマーク指標(A指標、B指標)を速やかに達成
非効率石炭火力	エネルギー基本計画に規定された「非効率な石炭火力(超臨界 <sup>※6</sup> 以下)のフェードアウト」について検討

省エネ法ベンチマーク指標 (2018年度の実績 ※3)



(※2) 2018年度の中部電力保有火力発電設備の総合熱効率を記載。(2019.4より(株)JERAに移管)  
 (※3) 2019年4月に統合した国内における既存火力発電事業を含めて算定  
 (※4) A指標：火力発電における燃料種毎の発電効率の目標値に対する達成度合いの指標  
 (※5) B指標：火力発電の総合的な発電効率の指標  
 (※6) 超臨界：蒸気圧力が22.1MPa以上かつ主蒸気温度が566℃以下(発電効率が概ね40%以下)

\*出典: JERAホームページ <https://www.jera.co.jp/corporate/infographics/>